

# 宇治市おでかけ支援事業 実証運行の検討の進め方

---

令和7年6月  
宇治市交通政策課

# 目次

---

1. はじめに	3
2. 背景	5
3. 実証運行地域の選定(案)	8
4. 実証運行の検討(案)	10
5. 実証運行の検討(案)のまとめ	13

# 1. はじめに

---

事業の検討にあたり、、、

令和3年7月に策定した、

**「宇治市交通体系基本計画」**

に基づき事業を検討



<目指すべき交通体系>

**市民・事業者・行政の三者協働による  
調和のとれた持続可能な公共交通の構築**

# 1. はじめに

---

宇治市交通体系基本計画で定めた基本方針

## 基本方針①

「モビリティ・マネジメントや環境整備をはじめとする既存公共交通の利用促進」

## 基本方針②

「既存公共交通を基盤とした新たな移動ニーズへの対応」

## 基本方針③

「市域全体の持続的発展に向けたまちづくりと一体となった公共交通ネットワークの充実」

## 基本方針④

「技術革新やICTの導入による多様化するニーズへの対応」

## 2. 背景

---

### 本事業検討の背景

現在本市の「公共交通\*」の状況は

- ・ 鉄道4社が乗入し鉄道駅は14駅、バス会社3社で主要駅からバスを運行している
- ・ 駅から1km、バス停から400m以上離れた個所を「交通不便地」と定義すると、本市の9割以上は不便地に当たらない
- ・ また、タクシー事業者も4社が市内に事務所を設置しており交通不便地においても移動手段の確保は充足している

⇒従前から「宇治市は公共交通に恵まれたまち」と位置付け

\*本市では公共交通を「不特定多数の誰もが対価を支払うことで利用できる移動手段」と定義している（「宇治市公共交通体系基本計画(令和3年7月策定)」より）

## 2. 背景

---

しかしながら、、、

過度なマイカー利用や、高齢化の進行などに伴い、社会的ニーズが変化してきていることから、駅やバス停などの交通結節点までの距離に関わらず移動が困難な方がいらっしゃるなど、新たな移動ニーズへの対応が必要となってきている



高齢者・軽度障害の方・妊婦・子育て世帯等、  
移動が困難と考えられる方の「買い物等の移動手段の確保」  
「生活利便性の向上」を図ることが求められている

## 2. 背景

---

### 基本方針②

「既存公共交通を基盤とした新たな移動ニーズへの対応」に基づき



既存公共交通を補完する形での新たな移動手段の検討として、  
移動困難者を、バス停留所・スーパー等まで輸送する  
「**おでかけ支援事業実証運行**」の実施を検討

# 3. 実証運行地域の選定(案)

## 検討対象地域

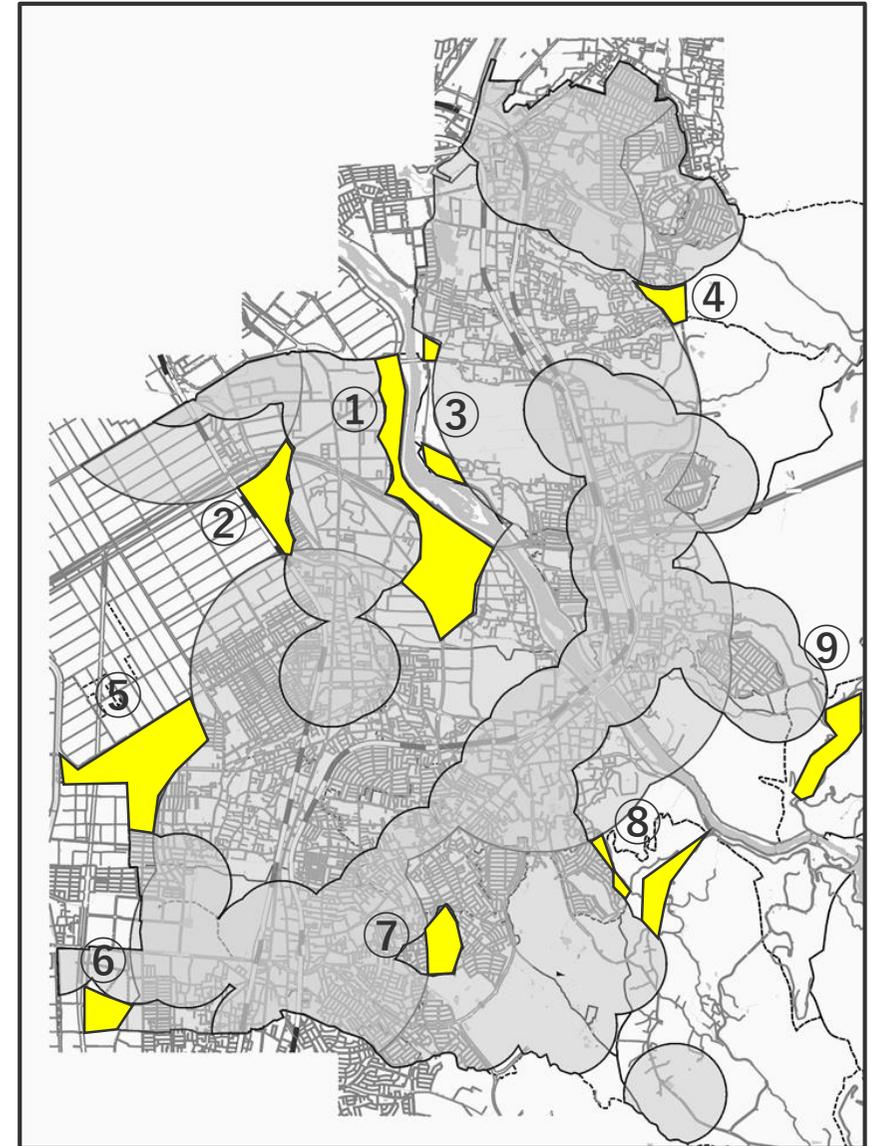
今回検討対象地域として、本市の「交通不便地」の位置として右図の9か所を設定

\* 駅から1 km、バス停から400m以上離れた地域

### 各地域の人口

- ① 榎島町東部：1,482人
- ② 榎島町西部：1,774人
- ③ 五ヶ庄(北部、南部)：21人
- ④ 木幡南山：1,399人
- ⑤ 伊勢田町、安田町：4,540人
- ⑥ 大久保町平盛：1,599人
- ⑦ 広野町大開：1,087人
- ⑧ 折居台、白川区：906人
- ⑨ 山間地域(志津川含む)：715人

※山間地域：炭山区、二尾区、池尾区、東笠取区、西笠取区、志津川区



# 3. 実証運行地域の選定(案)

## 検討対象地域の検討

### 検討項目(案)

「地域内人口千人以上」…実証運行をおこなうための最小想定人口

「地域内の買物施設・病院の有無」…高齢者の移動希望 買物・病院

### 交通不便地9地域による検討フロー

- ①榎島町東部
- ②榎島町西部
- ③五ヶ庄(北部、南部)
- ④木幡南山
- ⑤伊勢田町、安田町
- ⑥大久保町平盛
- ⑦広野町大開
- ⑧折居台、白川区
- ⑨山間地域※



- ①榎島町東部
- ②榎島町西部
- ④木幡南山
- ⑤伊勢田町、安田町
- ⑥大久保町平盛
- ⑦広野町大開



- ④木幡南山(丘陵地)
- ⑥大久保町平盛(平地)
- ⑨山間地域

④木幡南山、⑥大久保町平盛を「実証運行地域」と設定  
※⑨山間地域は既存スクールバスの活用を検討

# 4. 実証運行の検討(案)

## 運行手法の検討項目

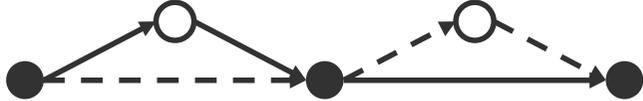
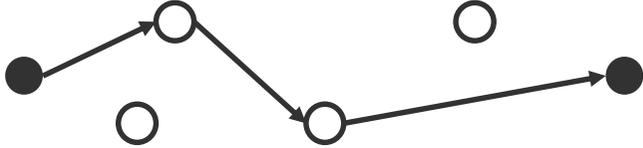
区域内の人を移動させる「運行手法の検討項目」として、乗合運行を想定し、以下の3項目を設定

1. 運行方法の検討(案)…定路線型、迂回ルート・エリアデマンド型、自由経路ミーティングポイント型、自由経路ドアツードア型
2. 運行ダイヤの検討(案)…固定ダイヤ型、基本ダイヤ型、非固定ダイヤ型
3. 運行車両の検討(案)…バス、マイクロバス、ワンボックス、セダン

# 4. 実証運行の検討(案)

## 4-1. 運行方法

運行方法として、以下の4つの手法(案)を検討

No	運行方法	イメージ図	備考
1	定路線型		路線バス、 西小倉乗合タクシー
2	迂回ルート・ エリアデマンド型		定期路線型をベースに、 予約に応じて迂回
3	自由経路 ミーティング ポイント型		定点から目的地まで移動 様々な市町で導入実績あり
4	自由経路 ドアツードア型		タクシーと同じ

# 4. 実証運行の検討(案)

## 4-2. 運行ダイヤ

運行ダイヤとして、以下の3つの手法(案)を検討

No	運行方法	運行時刻設定の特徴
1	固定ダイヤ型	予め定められたダイヤに基づき、予約があった場合のみ運行
2	基本ダイヤ型	運行の頻度と主要施設やバス停等における概ね発時刻、着時刻のみ設定されており、予約に応じ運行
3	非固定ダイヤ型	運行時間内であれば、需要に応じ、随時運行

# 5. 実証の検討(案)のまとめ

---

## 実証運行の検討(案)のまとめ

実証運行(案)については、下記の内容で実施を想定

運行地域：木幡南山、大久保町平盛、山間地域

対象者：事前登録を行った、交通不便地居住の高  
齢者・軽度障害の方・妊婦・子育て世帯

目的地：バス停留所、スーパー等

運行期間：3ヶ月(地域と調整の上、秋頃を予定)

その他：指標を定めて効果を検証する予定